

テーマ「敷地を有効に活用し、安全・安心かつ児童生徒の学習や生活の場として良好な環境を確保する学校」について

## 十日市・まち・みち つながる学びの場

少子化や人口減少などの課題を抱える日本においては、各地域が特色を生かし、これからも活力を維持していくために、「地域ならではの学び」を実践することが重要です。十日市小中学校の建設を契機に地域と教育の結びつきを考え、教育環境を整えます。

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

西見寺

グラウンドから見える校舎

十日市小学校

河川敷とグラウンドが連続的につながる

子ども集合所

遊びのいわ

森のいわ

食育のいわ

文化のみち

石見銀山街道

職員駐車場

武道場 サラバ帳販賣室

馬洗川

テーマ2「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向け、柔軟で創造的な学習空間の実現」について

## 児童・生徒が散策するようにめぐる学びの場

9年生が集まるメリットを最大化した学びの物語が展開する場を構築します。児童生徒の動線や学びの場がまちのように展開し、異年層や地域との交流を育む空間となります。小中一貫教育の複数年(4-3-2)のまとめを基本としながらも、学びの場を散策することが出来る一筆書きの教室配置とします。また、児童・生徒が自主的に情報やコミュニケーションを求めてオープンスペースやメディアセンターをめぐり、学校全体に散りばめられた探求学習のきっかけを見つけ、それらを共有・蓄積し、次世代に継続していく学びの場を地域と共につくります。

## 01 児童・生徒が散策し、新鮮な出会いのある学校

新校舎の1Fは、分棟的な配置することで外部に接続している部屋を増やし、様々ななわと連続した学びの場をつくります。2Fはメディアセンターを中心に普通教室をみちのようなオープンスペースに面して配置しており、小6や中1など連続する学年の教室群を隣接させ継続的な学びを展開します。



**オープンスペース(1-4年)**  
小上がりや可動書棚を設け、個人の興味を深めるスペースとして計画します。



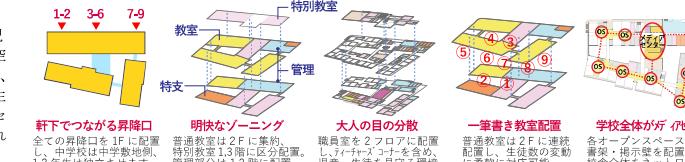
テーマ3「地域や社会と連携・協働し、多様なつながりで共創する学校」について

## 地域とともに学び合う“共創の学び場”的実現へ

この学校が目指すのは、地域の暮らしに静かに寄り添いながら、多様な人とやさしくつながる“共創の学び場”です。小中一貫の9年間を通して子どもたちがまちの一員として育ち、地域の人々とも関わり合えるよう、“自然体のつながり”を丁寧に設計します。異なる世代や立場が重なり合うこの場所で、地域とともに育ち合う新たな学びのかたちを描いていきます。

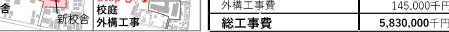
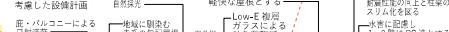
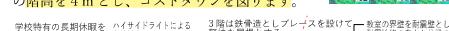
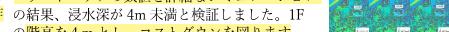
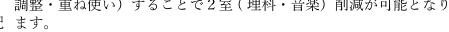
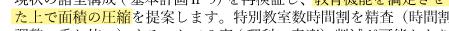
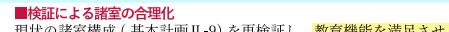
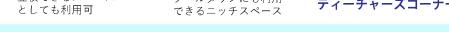
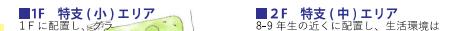
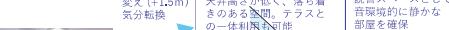
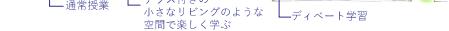
## 01 地域と“ほどよくつながる”学校のかたち

この学校では、地域との関わりが、強制的でも限定的でもなく、“ちょうどよく、つながる”設計を大切にしています。学校の前を通るだけの人、たまに来る人、日常的に関わる人——それぞれの関わり方に応じて、段階的な空間とセキュリティの計画を提案します。地域と子どもたちが“すれ違い、交わる”関係の入口を、空間から丁寧に育てていきます。



## 02 多様な活動を育むオープンスペース

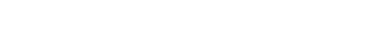
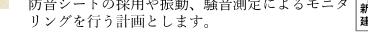
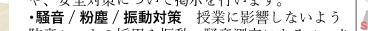
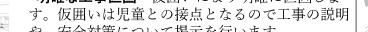
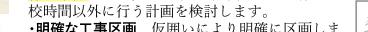
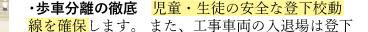
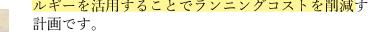
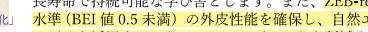
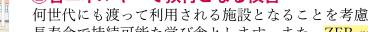
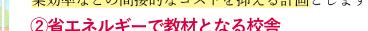
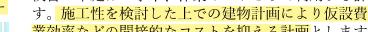
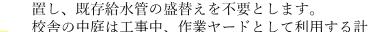
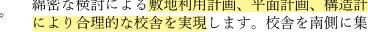
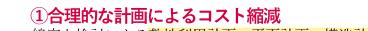
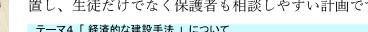
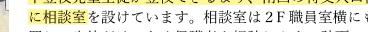
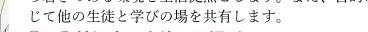
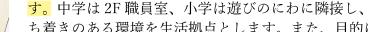
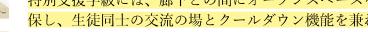
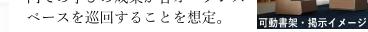
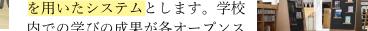
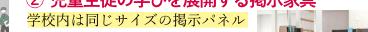
オープンスペースは1学年3クラスをひとまとまりとし、教室群と対をなす柔軟で自由な学びの空間とします。教室やオープンスペースを柔軟な学びの場として活用するために、可動式の家具を適宜配置します。1~4年生は知識に連携する接点を増やす、5年生以上は、教え合いやグループ学習なディスカッションすることで、学びを深められる設えとします。



## 03 活動が蓄積していくメディアセンター

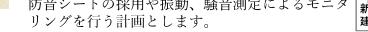
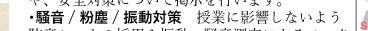
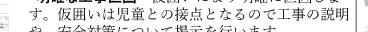
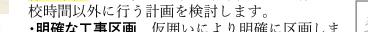
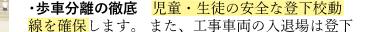
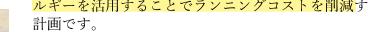
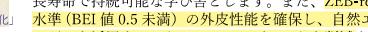
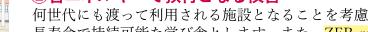
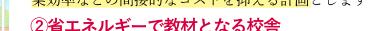
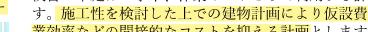
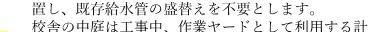
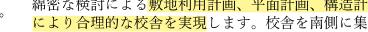
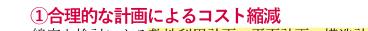
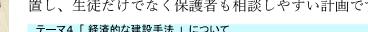
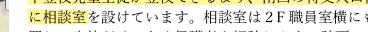
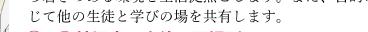
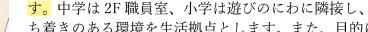
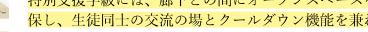
### ①ひとりひとりの学びがみんなの知識になる

書籍の保管・調べもの学習、発表の場、ICT対応など学びを集積される空間を学校の中心に配置します。ここでは、オープンスペース等での日々の学習履歴を蓄積/展示する空間とし、将来の子ども達へ知識をつないでいく空間となります。



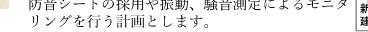
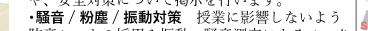
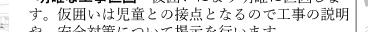
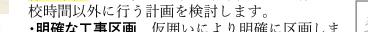
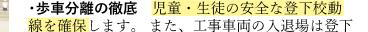
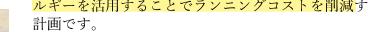
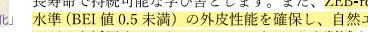
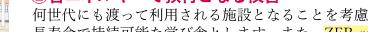
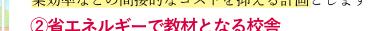
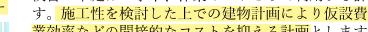
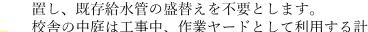
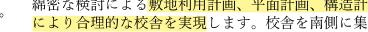
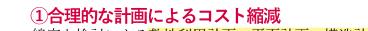
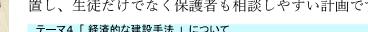
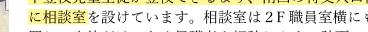
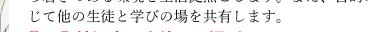
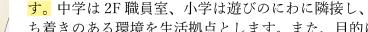
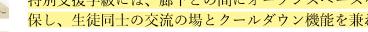
### ②児童生徒の学びを展開する掲示器具

学校内は同じサイズの掲示パネルを用いたシステムとします。学校内の学びの成果が各オープンスペースを巡回することを想定。



### ③児童生徒の学びを展開する掲示器具

学校内は同じサイズの掲示パネルを用いたシステムとします。学校内の学びの成果が各オープンスペースを巡回することを想定。



### ④だれもが自分の場所を発見し、安心できる学校

①落ちていた環境を基地とする特別支援学級

特別支援学級には、廊下との間にオープンスペースを確保し、生徒同士の交流の場とクールダウン機能を兼ねます。

中学は2F職員室、小学校は遊びの間に廊下を設けています。廊下は2F職員室横にも配置し、生徒だけでなく保護者も相談しやすい計画です。

2不登校児童・生徒の居場所

不登校児童生徒が登校できるよう、南西の特支入口付近に相談室を設けています。相談室は2F職員室横にも配置し、生徒だけでなく保護者も相談しやすい計画です。

3工事中の安全に配慮した建替え計画

歩道分離の徹底

児童・生徒の安全な登下校動線を確保します。また、工事車両の入退場は登下校時間以外に行う計画を検討します。

・明確な工事区画

仮囲いにより明確に区画します。仮囲いは児童との接点となるので工事の説明や、安全対策について揭示を行います。

・騒音・粉塵・振動対策

授業に影響しないよう防音シートの採用や振動、騒音測定によるモニタリングを行う計画とします。

4建替え工事の流れ

Step 1 建設

Step 2 新校舎建設

Step 3 新校舎外構工事

Step 4 教室・廊下・運動場

Step 5 既存校舎解体撤去

Step 6 既存校舎解体撤去

Step 7 既存校舎解体撤去

Step 8 既存校舎解体撤去

Step 9 既存校舎解体撤去

Step 10 既存校舎解体撤去

Step 11 既存校舎解体撤去

Step 12 既存校舎解体撤去

Step 13 既存校舎解体撤去

Step 14 既存校舎解体撤去

Step 15 食育講座で使用

給食を大人から学びながら若者が調理

## 無駄の少ない、安心安全な校舎

①合理的な計画によるコスト縮減

総密な検討による敷地利用計画、平面計画、構造計画により合理的な校舎を実現します。校舎を南側に集中配置し、既存給水管の替换を不要とします。

校舎の中庭は工事中、作業ヤードとして利用する計画です。施工を検討した上の建物計画により仮設費や作業効率などの間接的なコストを抑える計画とします。

②省エネルギーで教材となる地域

何歳でも渡って利用される施設となることを考慮し、長寿命で持続可能な学び舎とします。また、ZEB-ready水準(EER値0.5未満)の外皮性能を確保し、自然エネルギーを活用することでランニングコストを削減する計画です。

③工事中の安全に配慮した建替え計画

歩道分離の徹底

児童・生徒の安全な登下校動線を確保します。また、工事車両の入退場は登下校時間以外に行う計画を検討します。

・明確な工事区画

仮囲いにより明確に区画します。仮囲いは児童との接点となるので工事の説明や、安全対策について揭示を行います。

・騒音・粉塵・振動対策

授業に影響しないよう防音シートの採用や振動、騒音測定によるモニタリングを行う計画とします。

4建替え工事の流れ

Step 1 建設

Step 2 新校舎建設

Step 3 新校舎外構工事

Step 4 教室・廊下・運動場

Step 5 既存校舎解体撤去

Step 6 既存校舎解体撤去</